

豪雨災害から一年…復興へと進む只見町



只見中学校2年 目黒 翼さん



只見小学校6年 新國 かすみさん



蒲生小学校6年 五十嵐 陽さん



只見高等学校2年 長谷部 英樹さん

平成23年7月新潟・福島豪雨災害から一年

復興に向かい全力で進む只見町 …… 2～7

平成24年度地域人材育成ダイヤモンドプラン事業 …… 8～9

平成24年度福島県消防操法南会津地方大会 他 …… 10～13

町の話 …… 14～15

復興に向かい全力で進む只見町



▲豪雨による災害復旧工事で大型車輛を運転する方などに小学生から交通安全を祈願した短冊が贈られた(記事6ページ)

町は、復興に向け様々な事業を実施しています。特に、町内全域で発生した河川の氾濫などによる災害の復旧工事は、7月30日現在で、道路・橋梁・河川関係が29カ所で、林道が63カ所、農地・農業用施設関係が94カ所、上水道施設関係が12カ所、集落排水施設関係が3カ所、町営住宅関係が7カ所となっており、既に工事が完了したところや、



▲町内全域で進む復旧工事

災害復旧工事の状況

平成23年7月新潟・福島豪雨災害から一年が経過しました。町では、大水害からの復興を目指し、昨年9月に「同豪雨災害からの復興の基本方針」を策定、その復興施策には「災害に強いまちづくり」「被災者の居住の安定確保」「地域経済活動の再生」「豪雨災害の教訓を踏まえたまちづくり」の四つが掲げられています。この施策に基づき、大水害から一年が経過した今、町は、町民の皆さんと行政が一体となり、国・県の支援も受けながら、「安全に生活できる、災害に強い町」の実現に向かって全力で進んでいます。まだまだ復興には時間を要しますが、必ず訪れる復興の日を信じ、心をひとつに歩み続けましょう。

これから開始されるところもあります。なお、これらの総事業費は、査定額ベースで約33億4千万円となっています。

衛星電話や簡易発電機を配備



▲配備された衛星電話

豪雨災害で孤立状態になった地域や孤立の可能性が高い集落に対し、非常時に対応するための衛星電話と、さらに家庭用カセットボンベ2本を燃料に発電可能なガス式簡易発電機を、塩沢、寄岩、蒲生、八木沢、入叶

簡易雨量計を配付



▲配付された簡易雨量計

町内の27集落と入叶津地区、黒谷入地区の全29カ所に簡易雨量計を配付しました。配付したものは、卵型のコンパクトな雨量計で、雨が降ったら5分から10分ほど外に出し、表示を確認、簡単な計算で1時間当たりの雨量が分かり、避難の参考になります。なお、役場本庁にも備えています。

津、黒谷入、塩ノ岐、布沢の8集落(地区)に配備しました。

「新生只見の実現に向け、皆様と頑張ります」

只見町長 目黒 吉久

平成23年7月新潟・福島豪雨災害から一年が経ちました。昨年はライフラインの復旧、避難所生活の支援、住宅対策、災害復旧個所の査定対応等あわただしさの中で降雪期を迎えてしまいました。今年度は、本復旧に向けた工事の発注も進み、関係者及び事業者一丸となって復旧作業に取り組んでいただいております。誠にありがとうございます。

6月6日には黒谷川・叶津川の起工式が行われ、工事が進行しているとともに、只見川河川改修の考え方も県より示され、八木沢地区農地災害復旧の着手も目前となりました。住宅、店舗、農地等大きな被害にあわれた方々には、精神的・経済的困苦の中から今日まで生活の立て直しに頑張ってくれたこと、また、復旧関連につきましてご理解・ご協力いただきましたことに感謝申し上げます。

最近の台風やゲリラ豪雨がもたらす被害は常に記録的なものになっています。百年に一度の洪水といった確率論は意味がなくなり、今回を機に災害に強い安全な只見町にするため、今まで以上に質の高い治山・治水対策を求めてゆかなければなりません。また昨年の経験を基に道路寸断・停電等非常事態発

生時にきちんとした対応ができる資機材の設置とそれを活用した集落・関係機関との通信・通報・連絡体制の確立を図っておりますが、今後は、町・国・県・電力事業者も含め、只見川流域の安全対策に果たすべきそれぞれの役割と責任を明確にしながら取り組んでまいります。住民各位にもこの時期、集落防災訓練の実施等を通してなお一層の防災意識の高揚を図っていただきたいと思います。

さて、東日本大震災以降、原発事故による風評被害や豪雨災害によって住民生活と地域経済に大きな打撃を受けました。未だ傷癒えぬ現状ですが、それでも復旧工事の進みも感じられるようになり、少しずつ私たちの心の中にも元気が取り戻されていることを感じます。また、7月23日には国道252号が再開通したことはうれし限りであります。夏休み、お盆、秋の紅葉シーズンに間に合いました。

災害復旧工事は今年・来年が山場。復旧後の元かな只見町を再生することを誓い、自主・独立・自尊の気概を持って新生只見の実現に向け、引き続き皆様とともに議会と一緒に頑張ってまいります。

自主防災の意識向上



▲避難所に避難する地域住民



▲避難が完了した地域住民

7月29日、小川集落で防災訓練が行われ、地区の住民や消防団員ら145名が参加しました。午前9時の訓練広報で同集落に避難勧告が出されると、地区住民は集会所などの避難所に迅速に避難しました。関係者からは「訓練を行うと課題が見えてくる。その課題を踏まえ、さらに訓練を充実させていきたい」との感想が聞かれました。

小川集落で防災訓練

自然災害に対する日頃の備えを

昨年の新潟・福島豪雨のような突然襲ってくるゲリラ豪雨をはじめ、突風や竜巻など、ここ数年の間日本各地で異常気象による大きな自然災害が頻発しています。自分の住んでいる場所が安全という考えは非常に危険です。普段から避難先や避難経路、連絡先などを確認され、さ

らに、災害用品、非常用食品などを常備されることをお願いします。災害は、震災も含めいつ発生するか分かりません。非常時にはお互い助け合い、いち早く避難してください。町民の皆さんには、自主防災を心掛け、被害に遭わないよう、また被害を最小限に抑えられるよう、日頃からの万全な備えをお願いします。

豪雨の被害状況とできごと

被害の状況

新潟・福島豪雨の被害状況です。

建物被害 (H23.12.1現在)

- 全壊：30棟(住家7棟、非住家23棟)
 - 大規模半壊：25棟(住家21棟、非住家4棟)
 - 半壊：135棟(住家114棟、非住家21棟)
 - 床上浸水：50棟(住家35棟、非住家15棟)
 - 床下浸水：127棟(住家114棟、非住家13棟)
- 合計 367棟 / 住家 計291棟 / 非住家 計76棟

農地等被害 (H24.3.31現在)

- 農地・農業用施設被害 計 7億2,060万円

林業等被害 (H24.3.31現在)

- 林道・治山等施設 計 14億800万円

公共施設被害 (H24.3.31現在)

- 道路17箇所/河川7箇所/橋梁5箇所/町営住宅29戸/
簡易水道施設6箇所/集落排水施設3処理場 計 16億80万円

企業等被害 (H24.3.31現在)

- 商工業被害 (69件) 計 5億3,654万円

被害額合計 42億6,594万円

【参考】福島県管理施設被害額 70億220万円

～町の平成23年度一般会計当初予算額は約40億円～

ライフライン被害 (ピーク時)

- 水道・・・8集落(390世帯889人)が断水
【10月14日まで2集落(43世帯72人)に給水】
- 下水・・・6集落(290世帯680人)が使用不可
【8月29日 全町復旧】
- 停電・・・町内全域(1960世帯4990人)が停電
【31日午後、8集落(253世帯588人)を除き復旧】
【8月13日午後には全町復旧】
- 固定電話・・・11集落(386世帯977人)が不通
【8月20日 全面復旧】
- 携帯電話・・・12集落(470世帯1188人)が不通
【8月25日 全面復旧】



▲羽田国交大臣に要望書を手渡す
菅家会長(左から3人目)

昨年発生した豪雨災害によりJR只見線が現在も不通になっていることから、只見町JR駅を支援する会(会長・菅家俊一、只見町商工会長)の菅家俊一、長ら5名が、7月20日に国土交通省を訪れ、JR只見線の早期復旧運行を願う要望書を8月12名の署名簿を添えて、羽田雄一郎国土交通大臣に手渡ししました。羽田国土交通大臣は「只見線を廃線にすることはない。国もJRに働きかける」と述べられました。

JR只見線の早期復旧運行を
国土交通大臣に要望

時系列

昨年の豪雨に関する時間の流れと
主な内容です。

7月28日	
7:33	大雨警報発令
14:47	洪水警報発令
7月29日	
11:20	各地区から被害情報が入り始める
12:00	水防本部設置
12:30	叶津 堅盤橋通行止
13:30	R252宮淵～新潟 通行止め
15:00	中ノ平橋通行止
16:00	黒谷 黒谷入手前～万歳橋まで通行止
16:40	蒲生橋通行止
17:00	災害対策本部設置
17:30	全町に向け、各集会所等への避難勧告を広報
17:35	伊南川発電所水没
17:35	町民に対し増水注意を、消防団に対し河川巡視を開始するよう広報
17:58	楢戸 花立橋通行止
18:00	自衛隊へ派遣要請
23:35	久保橋通行不能
23:37	小川橋 落橋
7月30日	
6:21	楢戸橋通行止
9:00	前日9:00からの24時間累計降水量 523.5mm
9:30	各地で通行止の広報(該当箇所はR252田子倉地内、叶津・蒲生地内、R289楢戸・杉沢地内、県道小林館ノ川線荒島地内、県道大倉大橋・浜野線二軒在家地内)
13:20	ヘリによる救助開始の広報
17:07	ヘリによる物資輸送実施の広報
17:54	R289杉沢地内通行止解除
7月31日	
8:10	黒谷入地区、ヘリ救助開始
15:00	電力全面復旧見込
20:00	堅盤橋 仮復旧により一車線通行可能
8月1日	
13:50	ヘリによる行方不明者捜索開始(自衛隊)
15:26	大雨土砂災害警報発令
8月2日	
8:30	自衛隊撤収
9:00	全町で避難勧告解除

災害から身を守るために自主防災に努めましょう

【町民のみな様へ、大切なお知らせです】

町からお知らせする避難の情報

周知情報	以下の基準を目安に対象地区に周知情報を放送します。	放送を聴いたら次のとおり行動してください。
避難準備	○約3時間後にはん濫危険水位に到達すると予測される範囲で人的被害の発生する危険が高まったとき ○道路冠水になると予想される時	○家財、財産等を安全な場所へ移動してください。 ○お年寄りや体の不自由な方など避難に時間のかかる方は避難をはじめてください。 (水防団は巡視のうえ待機)
避難勧告	○約1時間後にはん濫危険水位に到達すると予測される範囲で人的被害の発生する恐れが明らかに高まったとき ○近隣地区で道路冠水が発生し、只見町においても浸水被害が予想される時	○避難してください。 ○近所の方にも避難について声をかけてください。 (水防団は避難誘導及び水防活動)
避難指示	○はん濫危険水位に到達し人的被害等の発生する危険が非常に高いと判断したとき ○近隣で床上浸水が発生したとき	○直ちに避難してください。 ○時間のない方は、近くの安全な建物など高いところに避難してください。 (水防団は避難誘導及び水防活動)

危ない!! サイレンが鳴ったら
間もなく川の水が増えます。
川には近寄らないでください!

田子倉ダム・只見ダムからの発電放流や、
大雨によるダム放流のときにはサイレンを鳴らします。

●発電放流のときのサイレンは、

1分間 10秒 1分間
サイレン サイレン

●ダム放流のときのサイレンは、

1分間 10秒 1分間 10秒 1分間 10秒 1分間 10秒 1分間
サイレン サイレン サイレン サイレン サイレン

※サイレンを鳴らしたあと「只見ダムからの放流のため、川の水が急に増えます。危ないので、川原におりている人は、急いで水のこない所まで上がって下さい。また、川の水位が上がりますので、川には近寄らないで下さい。」との放送が流れます。

◆ダム放流のときはサイレンと防災無線で皆さんにお知らせします。



- ・田子倉ダム、只見ダムからダム放流を開始するとき。
- ・只見ダムからの放流量が増加(毎秒500^ト、1,000^ト)したとき。
- ・田子倉ダムからの放流量が増加(毎秒1,000^ト)したとき。
- ・田子倉ダム、只見ダム、滝ダムへの流入量が増加し、はん濫や洪水がおこる可能性があるとき。



上記以外にも注意喚起や避難などの水防情報についても放送しますので、大雨のときは防災無線の情報に注意してください。

防災無線の個別受信機の乾電池は、毎年交換しましょう。(停電時でも放送が聞こえます。)

みんなの絆が未来を築く只見町



蒲生字小八木沢
五十嵐 陽 さん

被災から一年、多くの
方々に助けいただき今
を迎えられていること、
本当に感謝しています。

ありがとうございました。

当時のままの悲惨な光景を見ると不安感はある
ますが、少しずつ作業が進められ復興に向かって
いると毎日実感して嬉しく思っています。これか
ら豊かな自然を壊すことなく、ときには厳しさ
を感じながらも自然と共存できる只見町であって
ほしいと願っています。

交通安全祈願短冊

昨年の豪雨による災害復旧工事で大型車両
などを運転するドライバーや現場関係者の方
に、町内の小学生が、交通安全と工事の無事
を願った短冊を贈りました。贈呈式は7月31
日に黒谷川の万歳橋近くで行われ、小学生か
らトラック運転手の方へ短冊が手渡されると、
笑顔で受け取られました。工事関係者の
皆さん、安全な作業をお願いします。

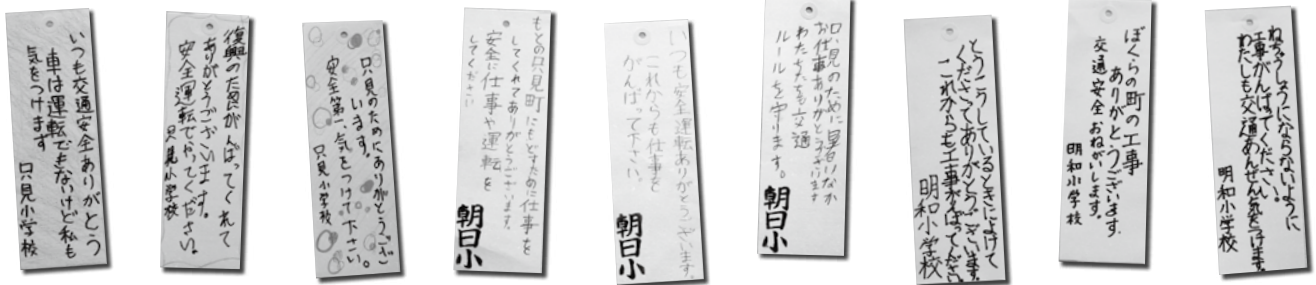


豪雨災害から一年

只見町消防団長
鈴木 好行 氏

甚大な被害をもたらした豪雨災害からちょうど
一年がたちました。各所で発生した災害はまだま
だ大きな爪跡を残しています。あらためて当時を
振り返ると、一人の行方不明者が発生し、未だに
発見に至っていないことは残念ですが、活動中の
消防団員を含め、それ以外の人的被害が出なかつ
たことは、まさに奇跡的な出来事だったと思われ
ます。これは危険を感じた人たちが、いち早く避
難したからに違いありません。

この災害を教訓に、各地で避難訓練を実施した
り、避難場所の見直しをしたりと、町民の防災意
識も高まってきています。この後もどんな災害が
発生するかわかりません。これらの災害には立ち
向かわずにまず逃げましょう。「逃げるが勝ち」
なのです。



**復興への第一歩
ボランティア活動**
(平成23年8月)



みんなの力で復興に向かう只見町



只見中学校2年
目黒 翼 さん

毎日暑い日が続くと、
昨年体育館で送った避難
生活を思い出します。半
分以上水没した家を前に

呆然とした記憶が、今でも強烈に脳裏に焼きつ
ています。最近、復興に向けて日に日に町が元
気になっていく様子を感じられるようになりました。
僕一人の力は小さいですが、今自分にできる
ことを精一杯やることが町の復興につながると信
じて頑張ります。復興には時間がかかりますが、
町がまた元通りになり、美しい風景に一日も早く
戻るように心から願っています。



只見高等学校2年
長谷部 英樹 さん

豪雨災害から一年、町
は復興に向け全力で進ん
でいます。ですが、まだ
まだ「復興」には時間が

かかると思います。あまりにも被害の規模が大き
すぎて「復興」という言葉にも途方に暮れる思い
だと思っています。しかし、一人一人の絆を大切に、
支え合いながら、只見町が前向きな気持ちで、一
刻も早く自然豊かなもとの町に戻ることを期待し
ています。そして、今まで以上に元気な町になる
ことを信じて、これからもみんなで力を合わせて
頑張っていきましょう。

「只見駅～大白川駅」間の 代行バスを運行

現在 J R 只見線が豪雨災害の影響で運行できない只
見から大白川間について代行バスを運行しています。

なお、只見駅と大白川駅との間は、降雪期前を目途
に只見線の運行再開を予定しております。

運 行 時 間

只見駅 発	→	大白川駅 着	車 種
8:50	→	9:50	マイクロバス
15:00	→	16:00	ジャンボタクシー
17:50	→	18:50	ジャンボタクシー

大白川駅 発	→	只見駅 着	車 種
8:20	→	9:20	ジャンボタクシー
14:20	→	15:20	マイクロバス
18:10	→	19:10	ジャンボタクシー



只見小学校6年
新國 かすみ さん

私は、昨年の豪雨災害
で二ヶ月以上、地区セン
ターに避難していました。
友達が遊びに来てくれる

こともあって、さびしくはなかったけれど、家の中
がぐちゃぐちゃになったのはたいへんでした。片
付けの時には、ボランティアの人たちも手伝っ
てくれました。

今、元の只見町の姿を取りもどすために、いろ
んな所で工事が行われています。只見町がますます
明るく笑顔がいっぱいになるよう、元の姿がと
りもどせたらいいと思います。



みんなの思いはひとつ
「がんばろう只見町」



12名の力を地域振興に、そして、町づくりに…

第4期生『伝統文化クリエイターの育成』開講

平成24年度地域人材育成ダイヤモンドプラン事業 「ふるさと只見・人材育成講座」



▲開講式での講座

開講式・第1回講座

7月3日に只見地区センターで開講式が行われ、主催者あいさつで、渡部仁一教育委員長職

只見町教育委員会が主催し行なっている「ふるさと只見・人材育成講座」事業も3年目を迎え、今年度は、第4期生の講座が始まりました。受講テーマは「伝統文化クリエイターの育成」で、町民の皆さん12名が講座に参加されます。

務代理は「災害を乗り越え、たくましい人材を育成していく。町の伝統文化に触れ、学び、豊かな心を持つ人になってください」と述べ、目黒町長は「皆さんの力や感性が磨かれ、人生の豊かさが向上されること、そして、この講座で学ばれたことが今後の地域振興に生かされることを願っています」と述べました。その後、受講生一人一人の自己紹介と決意表明があり、それぞれの「志」を話され、開講式は終了しました。

引き続き、第1回の講座が開かれ、「人間はどう生きるか！」をテーマに「葩島隆司」氏（公益財団法人モラロジー研究所）の講演が行われました。

これから、2年間の研修を受けられる12名の皆さんに、意気込みや思いを聞きましたのでご紹介します。（9ページに掲載）



趣旨

教育委員会では平成22年度より役場各課などと連携し、地域人材育成ダイヤモンドプラン事業を開始しました。この事業は、豊かな人間性を養うことや、基本的な知識、専門性、新たな課題への対応力など幅広い能力を身に付けることで、地域のリーダー的人材を育て、将来、その方々が多方面にわたり町づくりをサポートしていくことなどを本事業の目的としています。

実施期間

この人材育成講座を受講された方々が活動されることにより、只見町がさらに元気で活気のある町になることを目指し、本事業を継続して行なっていますので、町民の皆さんのご協力とご支援をお願いします。

平成24年度から平成25年度までの2年間の研修期間となります。

第4期生『伝統文化クリエイターの育成』平成24年度カリキュラム

回数	実施日	講師	内容
1	7月3日(火)	公益財団法人モラロジー研究所 生涯学習本部講師室顧問 葩島 隆司 氏	「開講式」 人間としてどう生きるか！
2	8月2日(休)	株式会社 明天 貝沼 航 氏	「学ぶ：基本的な考え方」 ～地域を愛し、出番を創る～
3	調整中	視察研修先関係者	「学ぶ：他地域の事例から」 ～先進事例研修～
4	9月10日(月)	株式会社 明天 貝沼 航 氏	「調べる」 只見町歴史文化遺産発見フィールドワーク
5	10月31日(水)	株式会社 明天 貝沼 航 氏	「創る」 只見町ヘリテージ活用観光プログラムづくり
6	調整中	松下政経塾 (塾生及び塾員など)	「体験研修」 日本を動かす松下政経塾（茅ヶ崎）を探る
7	12月11日(火)	受講生主体	「カリキュラム検討会」 来年度の講座内容を受講生で協議し計画する

○都合により内容が変更になる場合もあります。（8月1日現在の計画です）

12名の受講生の思いは…



五十嵐 成明さん (只見)

長期間の講座なので、自分なりに2年間で最後まで受講できるよう頑張りたい。



目黒 信さん (埼玉県在住・只見出身)

講座に積極的に参加し、只見の伝統や歴史を学び、只見町の文化の担い手になるだけでなく、只見町と首都圏の人達を結ぶコーディネーターとしての役割を果たしていきたい。



角田 勝太郎さん (小林)

古いものに執着せず、只見にしかないもの、出来ないものを考え、あるいは先取りした「元祖〇〇」を発信していきたい。



本多 一恵さん (只見)

私は食文化等に興味があるが、どのように若い世代に伝えていけるのかな〜と、そんな手段を学ばせていただきたいと思う。温故知新の境地である。



鈴木 サナエさん (只見)

小事徹底、雑事真剣…ちょっと苦手、でも一つ一つ頑張ります。伝統文化に興味があるし、その「心」を学び子どもたちや孫に伝えていきたい。そして講座を優先し出席します。学びます。



渡部 悦子さん (小川)

私は只見の昔話を捨てたくないし「昔話の会」も復活させたいと思っている。そのためにも只見の伝統文化について関心を持ち理解し伝えていくお手伝いがしたいと思う。



吉津 美都里さん (長浜)

与えられた環境・仕事をして年をとっていくより、何かを考えたり自分にできることを見つけられる良い機会になると思う。只見町の伝統というものをほとんど知らない私ではあるが楽しく学んでいきたい。



上村 貞江さん (長浜)

受講したことを近隣に語り、郷土愛とまとまりのある社会を作りたい。そうした中で「自分に何ができるのか」そのヒントも生まれてくれればいいと思う。



新国 万寿美さん (只見)

自分で思っているだけではなく、実際に行動に移せるような方法を学んでいければと思う。沢山のことを吸収して将来に繋がられるよう頑張りたい。



長谷部 友喜さん (蒲生)

只見のことについて、今の自分は知らないことが沢山ある。只見の歴史・伝統を学ぶとともに、次の世代へ伝えられるノウハウを学んでいきたい。



黒田 晶子さん (蒲生)

「良い機会なので頑張るか」と思うし、「焦らずゆっくりやっていけばいいかな」とも思う。私自身は、ぜんまい折りと、もみの技術を受け継いでいきたい。



佐藤 雅幸さん (小林)

この機会に一つでも多くのことを学習したいと思う。また、学んだことを青年団活動などを通して若い人達に伝えていきたい。

すばやい動作と正確な連携操作を披露

平成24年度 福島県消防操法 南会津地方大会

平成24年度福島県消防操法南会津地方大会が、7月8日に南会津町のだいくらスキー場駐車場で行われ、5月11日の結団式から40日間の訓練を重ねてきた町を

代表する消防団員、「ポンプ車操法5名」、「小型ポンプ操法4名」の選手が大会に出場しました。

大会当日は曇り空、会場では選手が思い思いにウォーミングアップし、本番を待ちました。ポンプ車は3チーム、小型ポンプは4チームが出場、只見町はどちらも2番目に操法を行いました。鈴木好行消防団長から「今日が本番、練習の成果をすべて出し切ってください」と激励を受けた選手は、全員で円陣を組み気合を入れ、競技に臨みました。競技では指揮者の「集まれ！」で選手は横一列に集合、「操作はじめ！」と同時に俊敏な動きと絶妙なタイミングでポンプ操作などを行い、最短時間で火点への放水を完了しました。ベストを尽くし操法をやり遂げたポンプ車と小型ポンプの両部門の出場選手に、鈴木消防団長をはじめとする応援団からは感動の拍手が送られました。選手らは、実力を出し切った満足感に浸り、健闘をたたえ合いました。



▲第2位に入賞したポンプ車操法

ポンプ車操法、小型ポンプ操法の成績と出場された選手は次のとおりです。



▲賞状を手にする選手と応援団

▼ポンプ車操法の部・第2位

角田誠(指)、川原田史紹(1)、堀金賢二(2)、舟木晋太郎(3)、佐藤雅幸(4)、酒井守(補充)

▼小型ポンプ操法の部・第3位

梁取智之(指)、目黒大輔(1)、角田祐介(2)、馬場達也(3)、酒井智也(補充)

(敬称略)

只見町消防団に 竿頭綬

昨年7月に発生した新潟・福島豪雨災害時に、懸命な消防団活動を行い、地域住民の被害の軽減に努めたとして、佐藤雄平福島県知事より只見町消防団に「竿頭綬(現場功労)」が贈られました。

特に、昨年7月29日、全町に避難勧告が発令された後、消防団員は各避難所への誘導や避難啓発活動を行い、深夜には一部地区で浸水による孤立者をボートなどで救助しました。その後も孤立集落に対し、支援物資の運搬や避難所の管理、行方不明者の捜索活動、被災住宅の土砂撤去などできる限りの復旧支援にあたりました。このような災害現場における的確な判断と、迅速な行動が評価されたものです。表彰式は5月26日に福島市で開かれた第65回福島県消防大会の席上で行われました。



▲表彰状を手にする鈴木好行団長(左)と目黒町長

春の褒章

山内 仁之さんに藍綬褒章



山内仁之さん（小林）は、昭和32年から統計調査に従事され、現在も調査員として活動されています。この間、昭和35年から11回の国勢調査員に従事されたほか、農林業センサス調査を11回、事業所・企業統計調査を5回など、全40回の統計調査に携われた。

この功績により、平成9年に福島県知事統計功労者表彰を、平成17年には農林水産大臣より農林業センサス功績者表彰を、平成18年には総務大臣より国勢調査功績者表彰を受けられた。

山内さんは、統計調査の重要性や必要性を認識され、調査内容を詳細に理解、丁寧な説明を心掛け、地域の実情を把握しながら、正確な調査と回収率の向上に努められている。

このような長期にわたる献身的な統計調査員活動が認められ、藍綬褒章を受章されました。

春の叙勲

三瓶 藤助さんに旭日単光章



三瓶藤助さん（大倉）は、昭和55年から平成元年に只見町農業委員会会長を、昭和63年から平成8年には只見町農業協同組合長を、平成9年から平成17年には会津みなみ農業協同組合代表理事組合長を務められた。

また、平成11年に農業振興部門で福島県知事功労賞を受賞、平成21年には大日本農会が表彰する農事功績「緑白綬有功章」を受章されています。

三瓶さんは、昭和32年に就農して以来、50年以上農業に従事され、地域農業のリーダーとして活躍されました。この間、養蚕を中心とした個別経営の確立、水田の基盤整備事業の推進、農業後継者の育成などに手腕を発揮、尽力されました。

このように、只見町さらには福島県の農業振興に大きく貢献されていることから、旭日単光章を受章されました。

エリア設定の専門部会案を提示

第3回只見町ユネスコエコパーク検討委員会

第3回只見町ユネスコエコパーク検討委員会が、7月25日に朝日地区センターで行われ、検討委員が出席しました。

今回は、第2回の同検討委員会で設置されたエリア設定のための専門部会で協議された、エコパーク登録申請に伴う「核地域」「緩衝地域」「移行地域」を設定する土地利用区分についてのエリア設定案が提示されました。示された案は5案で、酒井暁子専門部会長が説明、協議がなされ、内容として他町村との協議の必要性や核地域における登山客などの入山制限、自然公園法や保護林制度など既存制度との調整などについて意見交換が行われました。

また、設定案のもととなる森林生態系保護地域の特徴として、山菜採りなどを考慮し核心地域（コア部）のエリアが小さくなっていることや、イヌワシ保護を重視しコア部が設定されていることなども説明がありました。

今回の協議内容を踏まえ、再度エリア設定のための専門部会で検討され、8月20日に予定されている第4回の



▲土地利用区分などを協議した第3回検討委員会

同検討委員会でエコパーク登録申請に伴う土地利用区分についてのエリア設定案が決定となる予定です。

また、今回は宮崎県綾町のユネスコエコパーク登録についても、酒井暁子専門部会長の説明があり、日本では32年ぶり、5番目の登録で移行地域を持つエコパークとしては日本で初めてということでした。

なお、第4回の同検討委員会も一般公開により同会場です。午前9時から開かれますので、皆さんご来場ください。

佐藤知事と町村長が意見交換

南会津方部町村長と知事との意見交換会

佐藤雄平福島県知事が7月10日に只見町を訪れ、昨年の新潟・福島豪雨による被災地の復旧状況を確認されました。

その後、朝日地区センターで南会津方部町村長と知事との意見交換会が開かれ、目黒町長はじめ南会津、下郷の両町長と檜枝岐村長が出席しました。

意見交換のテーマは地域の復興・再生に向けた取組等についてで、各町村長が意見を述べたあと、佐藤知

事が対応策などについて回答されました。

目黒町長は、昨年発生した豪雨災害への集中的な復旧対策の実施と、町が取り組んでいるユネスコエコパークへの登録申請について県の積極的な支援を要請しました。

最後に佐藤知事は「できる限りのことを全力でやっていく。県も一緒になって、南会津の地域振興にしっかりと対応していく」と述べられました。



▲あいさつする佐藤雄平福島県知事

南会津消防団から軽積載車など譲り受け

消防軽積載車配備に係る引き渡し式

7月2日に役場本庁舎前で「消防軽積載車配備に係る引き渡し式」が行われ、南会津町消防団南郷師団の組織再編成により発生した余剰機材、消防軽積載車3台と小型ポンプ1台について、無償譲渡を受けました。

消防軽積載車は、第1分団第4班（只見新町）、第2分団第3班（塩沢）、第4分団第2班（黒谷入）に、小型ポンプは、第1分団第4班（只見新町）にそれぞれ

ぞれ配備されました。

式では、目黒町長が「南会津町より軽積載車などを譲り受け機動力が向上した。配備された機材を有効活用され、今後の防災活動にあたってほしい」とあいさつしたあと、各班の班長に目黒町長から車両検査と鍵が手渡されました。式には鈴木好行消防団長含め9名の消防団員が出席しました。



▲目黒町長より各班長に鍵などが手渡された

国道289号八十里越を活用した交流を検討

八十里越道路暫定的活用検討懇談会設立総会

国道289号八十里越（福島・新潟県境）の早期全線開通を望み、八十里越道路を限定的に活用した只見町と新潟県三条市の物産販売や観光事業の地域間交流などを検討する「八十里越道路暫定的活用検討懇談会設立総会」が6月27日に、漢学の里・諸橋轍次記念館（三条市）で開かれ、只見町から久保克昌副町長、菅家俊一商工会長ら、9名が出席しました。

あいさつで久保副町長は「9号トンネルの貫通を契機に只見町と三条市の交流に関しこれま

で以上に取り組み、一日も早い全線開通を期待します」と述べ、国道勇人三条市長は「暫定的活用が差し迫ってきた今、只見町と三条市が再び結びつきあう、希望に満ちた夢のある出来事が現実になります。一日も早い全線開通を期待します」と述べました。議事では八十里越道路の今後の方針として平成24年度は新規が2カ所、全13カ所の工事を行う予定であることが説明され、今後の利活用については、現在は工事用区間であり一般車両は通行できない状態だが、9

号トンネルは貫通し物理的には仮橋の状態では往來はできる。これは工事資材を運ぶためのものなので、このような状況での活用を考えていきたいとの説明が、国土交通省北陸地方整備局長岡国道事務所の稲本義昌調査課長よりありました。

また、平成24年度に予定されている交流イベントなどの協議も行われ、さらなる地域交流を図ることを確認し会議は終了しました。



▲あいさつする久保副町長

貴重な「あがりこコナラ」を ナラ枯れから守りたい...



▲あがりこコナラ【写真1】

あがりこ型樹形を形成する樹木は、ブナ、ミズナラ、スギなどがありますが、コナラはその性質から、あがりこ型樹形は形成されないと考えられていました。しかし、只見町の「あがりこコナラ」の存在は、これまでの常識を覆すものでした。コナラのあがりこ型樹形が形成された要因としては、やはり只見の多雪環境が大きく関わっていると考えられます。

このように「あがりこコナラ」は、只見のような多雪という自然環境とそこに暮らしてきた人々の歴史的な森林利用の形態により生み出された所産です。

「あがりこコナラ」は 貴重な「文化遺産」

貴重な只見町の 「あがりこコナラ」

只見町には全国的にも珍しい「あがりこコナラ」があります。このコナラの最大の特徴は、根元幹が肥大化、根元から、3から4メートル付近で枝分かかれし、箒（ほうき）をひっくり返したような樹形であることです【写真1】。このような樹形を「あがりこ」と言い、人間が薪材生産を目的として樹木を雪上伐採し、その後伐採位置から発生した萌芽幹（ぼうがかん）を薪として利用できるサイズまで生育させ、繰り返し伐採利用してきた結果、生まれたものです。

今日、その利用形態は消滅しましたが、地域の歴史と人々の生活を今に伝える貴重な「文化遺産」といつてもよいのではないのでしょうか。



▲齊藤正一氏の指導によるナラ枯れ対策作業【写真2】

迫り来る ナラ枯れの脅威

只見町では2009年よりナラ枯れ（カシノナガキクイムシ）が伝播するナラ枯れ菌によって引き起こされる、ブナ科樹木の伝染病の流行）が観察され、現在もその被害が拡大しています。ブナ科樹木である「あがりこコナラ」もその被害の対象と

なり、集団枯死が危惧され、保全策が必要とされてきました。

最新技術による 「あがりこコナラ」の ナラ枯れ対策を実施

このような状況の中、6月30日と7月1日の二日間で、山形県森林研究研修センターと東北大学の協力により「あがりこコナラ」の保全対策が行われました。柴倉山山麓の牧平において、山形県森林研究研修センター齊藤正一氏の指導のもと、只見町ブナセンタースタッフとボランティアにより、ナラ枯れの原因となるナラ菌の拡大を防ぐ殺菌剤を「あがりこコナラ」60個体に注入しました【写真2】。これまでのアンプル（薬液の入った容器）による殺菌剤の注入法とは異なり、木の根元にドリルで穴を開け、注射器で薬剤を注入する新たな方法で行われた作業は、実証試験でもあります。

今回の保全対策により、只見町の貴重な「あがりこコナラ」を守れることが期待されます。

2012奥会津・只見 水の郷まつり

「がんばる只見町」の復興を祈願!!
7月28日・29日、水の郷まつり…
只見川公園で盛大に、にぎやかに開催。



1



3



2



4



5

- 1 カブトムシつかみ 2 水鉄砲合戦 3 イワナつかみ
- 4 地元バンドライブ 5 只見音研コンサート



コスモメディカルサポート 災害救急セット寄贈

株式会社コスモメディカルサポート（郡山市）の水野淳代表取締役が6月28日に役場本庁を訪れ、災害救急セットを10セット寄贈されました。同セットはコンパクトなバッグに収められ、中には寒さや暑さから身を守る防護シートや、三角巾、マジカル包帯、携帯型エコライト、抗菌マスクなど全9品が入っています。この災害救急セットは公用車に常備し、緊急時などに活用させていただきます。ありがとうございました。



▲公用車に備えた災害救急セット

環

只見小学校にLED照明灯寄贈 環境に優しい自然エネルギーで発電

アサヒビールから只見小学校に、太陽光と風力で発電する環境に優しいハイブリッドLED照明灯1基が寄贈されました。田中晃アサヒビール株式会社福島支社長が6月29日に只見小学校を訪れ、校門付近に設置された照明灯の近くで寄贈式が行われました。式には全校児童が出席、田中福島支社長から町教育委員会の横山伸成主任主査に目録が手渡されました。児童代表の酒井康志くん（6年）が「明るい照明灯をありがとうございました」とお礼の言葉を述べました。



▲横山主任主査に目録を手渡す田中晃福島支社長（右）

多

フリーマーケット&作家展 彩なイベントで来場者を歓迎

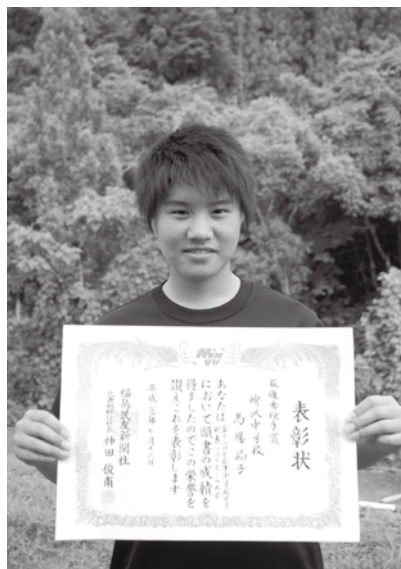
7月22日に、坂田地区にある曲屋「嘉紅簾慕（かくれんぼ）」で「フリーマーケット&作家展」が開かれ、大勢の来場者でにぎわいました。企画はかくれんぼ事務局で、今回が2回目となるフリマ&作家展では、アトラクションとして、バンド演奏やカラオケ大会、くじ引き、スイカ割りなども行われ、来場者は楽しいひとときを過ごしていました。フリマには衣類や工芸品などが並び、会津若松からは漆器やパッチワークなどの作家も集いました。



▲大勢詰めかけたフリーマーケット&作家展

馬

全会津中学校女子親善ソフトボール大会 馬場晶子さんが最優秀投手に



▲最優秀投手賞の表彰状を手にする馬場晶子さん

福島民友新聞社が主催し開かれた「第13回 全会津中学校女子親善ソフトボール大会」の決勝戦が7月16日に湯川村営野球場で行われ、松沢中学校（南会津町）が見事に優勝しました。松沢中を優勝に導いたすばらしい活躍を見せたのが、明和小学校から松沢中に進み、ソフトボール部で練習を重ねてきたキャプテンで3

年生の「馬場晶子（あこ）」さんで、この日ピッチャーで出場した馬場さんは、最優秀投手賞を受賞、「優勝できてうれしい。夢がかなった。高校に行っても続けたい」と笑顔で話しました。

あ

ウォーク日本1800in只見 いづ歩こう会のメンバーが只見を散策



▲只見の大自然を満喫しながらウォーキングする参加者

あいづ歩こう会（渡部徳会長）の主催で7月22日に「ウォーク日本1800in只見」が開かれ、会津若松、郡山、福島、いわきの各市と県外から約150名が只見駅前に集いました。このイベントは昨年の豪雨災害から一日も早く復興し只見町が元気になるよう応援しようと催されました。参加者は、只見駅前を出発し、町中を散策しながら歳時記会館や青少年旅行村いこいの森などを訪れ、常盤橋を経由、只見駅に帰る約10kmのコースを歩き、さわやかな汗を流しました。

Anna先生のLife in JAPAN Vol.19

■ Anna・George

・1987年生まれ。英国ノーフォーク出身。
・2010年8月から只見町英語指導助手。
・小学校と中学校で語学の指導を行います。



今年度も、1学期がもう終わりを迎えようとしています。現在（7月中旬）は夏休み前のまとめの授業を行っています。生徒たちはその学習に一生懸命取り組んでいます。こんなに暑い日々の中なのに…。

生徒たちはこれから始まる夏休みも忙しく活動します。特に、所属している部活、特設の合唱、駅伝や陸上、そして英語弁論大会に向けての練習などです。私も夏休みには英語弁論大会の練習のお手伝いをします。大会ではぜひともすばらしい成績を残してほしいと思います。

天気がいよいよ週末はよく外で過ごしています。最近では下郷町の「大内宿」や「塔のへつり」に行っ



てきました。大変美しかったです。そこではとてもかわいらしい赤べこの「箸入れ」を購入してきました。先日、尾瀬にも行ってきました。尾瀬は本当にすばらしく驚かされました。大変広いところなのですべてを見ることはできませんでした。ぜひまた夏に訪れたいと思います。尾瀬に行くまでの道中にもすてきな景色の場所がたくさんありました。掲載した写真は檜枝岐村の川で撮ったものです。

この夏もたくさんのお祭りに行けることを楽しみにしています。特にお祭りではか食べられないようなものが楽しみでなりません。私にとって夏に飲む最高のドリンクは「ラムネ」です。（訳・只見中・平野）

広報ただみ診療所

朝日診療所

所長 星野 弘尊

『その「いびき」、大丈夫?』

みなさん、こんにちは。朝日診療所の星野です。朝晩は冷え込みますが、暑い季節がやってきました。熱中症には十分に注意してください。

今回は、睡眠中に起こる無呼吸についての話です。「睡眠時無呼吸症候群」という病名で、睡眠中に10秒以上の呼吸が停止、つまり無呼吸が5回以上繰り返えられる病気です。主に、いびきや昼間の眠気、熟睡感がない、起床時の頭痛などの症状があります。日中の眠気は、自動車運転中の事故につながる場合もあります。また、この病気は、高血圧、心臓病、脳卒中、糖尿病などの生活習慣病を合併しています。最近では肥満、糖尿病、高血圧、高脂血症の「死の四重奏」に「睡眠時無呼吸症候群」を加え、「死の五重奏」と言われることもあります。生活習慣病として治療を要します。その中で、高血圧は、睡眠時無呼吸症候群が増悪因子ですので、睡眠時無呼吸症候群の治療を行い、高血圧の内服薬が減らせる方もいらっしゃると思います。

の沈着、扁桃肥大、アデノイド（咽頭扁桃増殖症）、気道へ舌が落ち込む、舌が大きい（巨舌症）、鼻が曲がっているなどです。日本人ではあごが小さい人（小顎症）の方も多く、痩せていても睡眠時無呼吸症候群を発症する方もいます。

治療は、内科的治療、歯科治療、外科治療などがあります。内科では就寝中にマスクを着用し、空気を送り込む、経鼻的持続陽圧呼吸療法で治療します。同時に生活習慣を改善します。減量、飲酒の制限、禁煙などです。

睡眠中にいびきがひどく、呼吸が止まっていると言われたことがある方、熟睡感がなく、日中の眠気がひどい方は、検査をしてみてもいいかがでしょうか。また、ご家族でそのような方がいる場合は検査を勧めてみてください。検査は診療所でも可能です。一泊入院での検査、または自宅での検査となります。詳しくは診療所でご相談ください。

【参考】

▶ <http://www.sleep.or.jp/>

▶ <http://www.kaimin-life.jp/>

町史

とっておきの話

217

南相馬市博物館学芸員

稲葉 修

只見とっておきの魚たち ⑦

只見町には、
どんな淡水魚がいるの？

「自然首都・只見」として豊かな自然を誇る只見町には、いったいどれくらいの種類の淡水魚がいるのでしょうか。

最終回は、只見町の只見川・伊南川流域において、筆者がこれまで確認した淡水魚を掲載します。

コイやギンブナ、オイカワ、ニゴイなど只見町にあつうに生息している魚は、実は以前からいたものではなく、町外から持ち込まれた魚なのです。

このような種類を国内外来種といいます。ニジマス、オオクチバス、ブルーギルは外国から持ち込まれた魚なので、国外外来種です。

そうしてみると、只見町にもともと生息していた魚は、意外と少ないのに驚かれると思います。わたしたち人間の活動が、自然や生態系を変え、絶滅に追いやった魚までいるのです。こ

れからは淡水魚をはじめ、いろいろな生き物たちが生息できる多様な環境を残していきたいものです。

科名	和名	只見の分布状況	備考
ヤツメウナギ科	カワヤツメ	●	絶滅危惧Ⅱ類(国)、未評価(県)
ウナギ科	ウナギ	□	野生個体は情報不足(国) 国内外来種と思われる
コイ科	コイ	○	国内外来種と思われる
	ゲンゴロウブナ	○	国内外来種と思われる
	ギンブナ	○	国内外来種と思われる
	ハス	○	
	オイカワ	○	
	アブラハヤ	○	
	エソウグイ	●	絶滅のおそれのある地域個体群(東北地方(国)、未評価(県))
	ウグイ	●	
	モツゴ	○	在来種と思われる
	カマツカ	○	国内外来種と思われる
	イトモロコ	○	国内外来種と思われる(食用、水田耕作に伴う)
	ドジョウ	○	
	シマドジョウ	○	
	ギギ	○	
ナマズ科	ナマズ	○	
アカザ科	アカザ	●	絶滅危惧Ⅱ類(国)、準絶滅危惧(県)
キユウリウオ科	ワカサギ	○	
アユ科	アユ	□	
サケ科	ニジマス	△	
	イワナ	●	情報不足(国)※ニッコウイワナとして
	ヤマメ(サクラマス河川残留型)	●	
カジカ科	陸封型カジカ	●	準絶滅危惧(国県)※大卵型として
サン	オオクチバス	△	
フイツシユ科	ブルーギル	△	
ハゼ科	トウヨシノボリ	○	

【凡例】●：もともと生息していた種 ○：国内から持ち込まれた種 △：国外から持ち込まれた種
□：もともと生息していた種が絶滅した後、養殖個体を放流したもの

※只見町で野生絶滅した種

科名	和名
ウナギ科	ウナギ
アユ科	アユ
サケ科	サケ
	サクラマス

(注)

1. この目録は、只見町(阿賀野川水系、只見川・伊南川流域)で確認した魚種(円口類含む)についてとりまとめたものです。

2. 和名は、中坊(編)(2000)「日本産魚類検索 全種の同定 第二版」、環境省(2007)報道発表付随リストに従いました。

3. コイ科のカマツカの在来分布、ニゴイの国内外来分布の考えについては、まだ不明な点があります。

町民文芸



只見短歌会

六月詠草

大塚栄一 指導

古川 英子

裏の家の蔓ばら明るく咲き継ぎて夫の病にやうやく慣れし

馬場 八智

疲れしと思へど又も畑に出づ農婦の根性われ休ませず

目黒 富子

病む友に田苗餅を届ければしばし頬に当て温もりを言ふ

関谷登美子

災害で電車途絶えし山裾に鶯の声澄みて聞こゆる

渡部ゆき子

除草剤撒く日を延ばし台風の進路気にして過ぎ行くを待つ

五十嵐夏美

七本の真白き筋ぞ浅草岳に六月末の残雪光る

渡部ヨリ子

雨あとの畑に出づれば丈低き野菜は草の中に埋れし

新国 洋子

入院の夫は娘に三食も養はれるて食欲の増す

(出 詠 順)

只見俳句会

七月例会

目黒十一 指導

邦 夫

九十八歳大暑に耐ゆる自信あり

一泊の高野宿坊黴臭し

笑 羊

びっしりと濡れし螢に又の雨

てんと虫退治と云いて登校児

康 女

自転車の母子二人の夏帽子

高からぬ敷居に素足とられけり

リウコ

雨休み朝寝たっぷり卵焼き

馬鈴薯の花はマルチの畑に咲き

都

これしきと身にもちを打つ夏の風邪

梅雨の月形見に残る杖一つ

一 穂

飛び跳ねて鯉の腹見す産卵期

トマト噛む土に汚れしユニフォーム

洋 子

でで虫や雨の行方を探さんと

敦 子

手に触れんばかりに近し夏燕

好物のピザ焼き上がる梅雨晴間

礼

迫りくる四圍の山々南吹く

蔦茂るここも空き家となりしとは

一 灯

蠅飛んで来るや下駄箱角よけて

のどけしや菓子くず奪いあう雀

邦 男

父母のおもかげ遠く笹ちまき

運動会放射線量異常なし

吉 児

地靄立つ晴るる兆や登山地図

折り口に灰たっぴりと夏蕨

恒 夫

立葵なべて夕日にかしぎおり

手に触ると忘れて久し青ぶどう

Information

今月のお知らせ

電話番号

総務企画課	
総務班	☎ 82-5050
	☎ 82-5210
企画班	☎ 82-5220
町民生活課	
税務班	☎ 82-5110
町民班	☎ 82-5100
保健福祉課	
保健班	☎ 84-7005
福祉班	☎ 84-7010
産業振興課	
農林班	☎ 82-5230
交流推進班	☎ 82-5240
環境整備課	
地域整備班	☎ 82-5270
生活環境班	☎ 82-5280
会計室	☎ 82-5120
議会事務局	☎ 82-5300
農業委員会	☎ 82-5230
教育委員会	☎ 82-5320
学校給食センター	☎ 84-7180
只見保育所	☎ 82-2219
朝日保育所	☎ 84-2038
明和保育所	☎ 86-2249
朝日診療所	☎ 84-2221
(歯科)	☎ 84-2612
訪問看護ステーション	☎ 84-2130
こぶし苑	☎ 84-2101
保健福祉センター	☎ 84-7005
只見地区センター	☎ 82-2141
朝日地区センター	☎ 84-2111
明和地区センター	☎ 86-2111

税 今月の納期

- 8月27日までに納めましょう
- 町県民税(2期)
- 国民健康保険税(2期)
- 農集排使用料(8月分)
- 介護保険料(2期)
- 後期高齢者医療保険料(1期)

RECRUITMENT

募集

南会津地方広域市町村圏組合臨時職員

南会津地方広域市町村圏組合会計室に勤務する臨時職員を募集します。

- 雇用職種 臨時事務補助
- 雇用予定人員 1名
- 応募資格
 - ①日本国籍を有する方
 - ②地方公務員法第16条(欠格事項)に該当しない方
 - ・成年被後見人等
 - ・禁固以上の刑に処せられ、その執行が終わらない者
 - ・本組合職員として懲戒免職の処分を受け、2年を経過していない者
- ③年齢資格等
 - *年齢・学歴は問いません。
- ④条件

*パソコンのワード、エクセルをある程度使いこなせる方

●勤務・待遇

- ①勤務地 南会津町役場会計室
- ②待遇 組合の規定による
- ③勤務日 週5日 午前8時30分～午後5時15分
- ④雇用は、平成24年10月1日からとなります。

●雇用の方法

- 面接及び書類審査(履歴書)により雇用予定者に通知します。
- 面接予定日
 - ①面接日時 応募者に別途連絡します。
 - ②会場 南会津地方広域市町村圏組合事務局(県南会津合同庁舎向)
- 応募手続き及び期間
 - ①市販の履歴書に写真を貼り、必要事項を記入のうえ南会津地方広域市町村圏組合事務局に提出してください。

②受付期間

- 平成24年8月30日(木)まで(執務時間中に限ります。)
- 郵送の場合も、8月30日(木)必着です。
- その他 この募集に関してご不明な点は、南会津地方広域市町村圏組合事務局総務係へお問い合わせください。
- ▼問い合わせ 南会津地方広域市町村圏組合事務局 0241-6210054

生活

LIFE

福島県司法書士会

無料法律相談会

監査委員の選任

監査委員の選任について、6月25日に行われた平成24年只見町議会6月第2回会議で同意がなされ、次の方が新監査委員に選任されました。任期は平成24年9月1日から平成28年8月31日までです。

朝日財産区

管理委員の選任

朝日財産区管理委員の選任について、6月25日に行われた平成24年只見町議会6月第2回会議で同意がなされ、次の方が新委員に選任されました。なお、辞令交付は、8月1日に役場本庁で行われました。任期は平成24年8月1日から平成28年7月31日までです。

- ▽矢澤 照嘉(黒谷)
 - ▽小沼 武夫(黒谷)
 - ▽横山 英彦(楯戸)
 - ▽渡部 稔(福井)
 - ▽渡部 公章(小川)
 - ▽吉津 謙三(長浜)
 - ▽目黒 義行(熊倉)
- (敬称略)

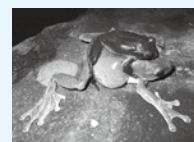
只見の川と水辺の生き物たち～魚類と両生類～

企画展「只見の川と水辺の生き物たち～魚類と両生類」
「ただみ・ブナと川のミュージアム」で開催中 9月23日(日)まで

只見町には、只見川と伊南川の大きな二つの川があり、周りの山々からは、ブナの森を水源とする多くの沢が流れ込んでいます。これらの河川および水辺には沢山の魚が泳ぎ、カエルやサンショウウオも多いことが知られています。ブナの森と水に育まれた大切な生命です。では、只見には何種類の魚やカエル、サンショウウオがいるのでしょうか。イワナと

ヤマメの違いは？、セングーガエルと呼ばれるカエルの正体は？、只見のヤツメは全国的にも珍しい生き物だった！、など。

今回の企画展では、ふるさと只見に生息する魚類と、カエル、サンショウウオなどの両生類を展示しています。暑い夏、水辺の生き物たちの展示を見ながら涼しい気持ちになり、ふるさとの水辺を見つめなおしてみませんか。小中学生の夏休みの自由研究のヒントにもなる展示です。ぜひ、ご家族やお友だちとご来館ください。新しい発見があるかも…。



ブナセンター講座「只見の川魚たち」

と き：9月8日(土) 13:30～15:00
ところ：ただみ・ブナと川のミュージアム
講 師：稲葉 修 南相馬市博物館学芸員

自然観察会「ブナ林にすむ魚を探る」

と き：9月9日(日) 9:30～14:30
ところ：布沢川流域 田沢川
講 師：稲葉 修 南相馬市博物館学芸員

企画展
只見の川と水辺の
生き物たち
～魚類と両生類～

2012年7月28日(土) ▶ 9月23日(日)

ブナセンター講座 只見の川魚たち
2012年9月8日(土) 13:30～15:00
ただみ・ブナと川のミュージアム セミナー室
講 師：稲葉 修 (南相馬市博物館 学芸員)

自然観察会 ブナ林にすむ魚を探る
2012年9月9日(日) 9:30～14:30
ところ：布沢川流域・田沢川(大田木地師集落跡周辺)
只見町布沢・森林の分岐をむき合ふ集合・解散
講 師：稲葉 修 (南相馬市博物館 学芸員)

ただみ・ブナと川のミュージアム
URL: <http://www.tadami-buna.jp>
ただみ・ブナと川のミュージアムは福島県南相馬市只見町只見1-1-1 TEL: 0241-72-8355

只見町プラセター

町 長 室 日 誌

〈 7 月 分 〉

- 2日 只見町勤労者互助会理事会・総会、消防軽積載車引渡式
- 3日 人材育成ダイヤモンドプラン第4期生開講式
- 4日 只見川洪水対策についての住民説明会
- 5日 国道289号建設期成同盟会正副会長会議
- 6日 山内仁之氏褒章伝達式、只見町土地改良区理事会・臨時総会
- 8日 消防操法南会津地方大会
- 9日 郡内町村長会議、福島県知事との夕食会
- 10日 福島県知事との意見交換会及び被災地現地視察
- 12日 これからの会津をつくる地域懇談会
- 13日 県道小林館ノ川線改良促進期成同盟会総会、南会津会評議員会・理事会
- 17日 只見町議会全員協議会、南会津地方町村会懇談会
- 18日 奥会津5町村活性化協議会懇談会
- 19日 会津縦貫南道路整備促進要望活動
- 20日 只見町議会7月会議
- 23日 水の郷まつり実行委員会
- 24日 国道289号建設期成同盟会事業説明会・総会・中央要望
- 26日 国道289号八十里越地点開発促進期成同盟会総会及び懇親会(～27日)
- 28日 水の郷まつり
- 30日 ふるさと大使選考会、福島県町村長中央研修会及び交流会(～31日)

町民の消息

(7月1日～7月31日届出分・敬称略)

■お誕生おめでとうございます

五十嵐 皇 渚(男/亮太・真紀) 福井
梁 取 昊(男/麻緒・沙織) 長浜
酒井 莉 里(女/寛太・美幸) 福井

■ご結婚おめでとうございます

長浜 小沼 利光♡大阪府 大谷 葉子

■おくやみ申し上げます

飯塚 篤	84歳	坂 田
酒井 俊男	88歳	只 見
酒井 信義	79歳	長 浜
酒井 あき	91歳	只 見
菊地 クメ	83歳	梁 取
湯田 ナツ子	84歳	蒲 生

※「町民の消息」欄に掲載を希望されない方は、届出のときにその旨をお伝えください。

人のうごき

平成24年7月1日現在

人口	4, 788 (-16)
男	2, 306 (-8)
女	2, 482 (-8)
世帯数	1, 844 (-3)
高齢化率	41.3%

※高齢化率とは、65歳以上の人が人口に占める割合です。

転入 8 転出 17 出生 1 死亡 8

▽昨年の7月29日に只見町を襲った「新潟・福島豪雨」は、ほぼ町全域に大規模な被害をもたらしました。あれから一年が経ち、町は復興に向かって一歩ずつ前に進んでいます。災害現場では復旧工事が行われ、一日も早い復興を願った様々な催しも開かれています。7月23日には待望の国道252号六十里越も再開通し、24日には道の駅「いりひろせ」で再開通式も行われました。着実に確実に前進する只見町です。これからも町民の皆様と行政、思いを一つに頑張っていきたいと思います。新しい只見町をつくりましょう。

あとながき

まちづくり推進員
渡部 敦子

明和地区センター
図書室 ☎ 86-2111

おすすめ新着図書

★ぐんぐんのびる！ 東京スカイツリー断面図と大パノラマ



青山邦彦/絵 (講談社)

634メートルという日本一の高さを誇る東京の新しいシンボルタワー、スカイツリー。関連図書もたくさん出ていますが、この本はちょっと異色。開いてみるとページがじゃばらに折られていて、タイトル通りぐんぐん伸びるんです！全部伸ばすと約2メートル。美しく緻密ながらユーモラスなイラストで、実物の350分の1ほどに描かれた断面図の裏面には、展望台から見渡せる360度のパノラマが。まだ行っていない人もその高さを体感できるかも。親子でどうぞ。

★ダース・ヴェイダーと ルーク(4才)



ジェフリー・ブラウン/作
(辰巳出版)

男の子を育てた経験のある人、純粋なスター・ウォーズファンどちらも楽しめ、そのどちらでもある人はもっと楽しめる、本編への愛と、とても短い子どもが幼い時間への愛おしさにあふれた「暗黒卿の子育て絵本」(笑)。とてもほのぼのとした内容ですが、ラストのルークの台詞は胸が熱くなります。こんなシーンも。「ルーク、一緒にくるがいい」「なんで？」「ほかに道はないからだ」「どうして？」…笑えるけれどやっぱり切ないですね。

ふれた「暗黒卿の子育て絵本」(笑)。とてもほのぼのとした内容ですが、ラストのルークの台詞は胸が熱くなります。こんなシーンも。「ルーク、一緒にくるがいい」「なんで？」「ほかに道はないからだ」「どうして？」…笑えるけれどやっぱり切ないですね。

★その他の新刊は、米澤穂信「氷菓」シリーズ、葉室麟「蝸の記」、「くれよんのくろくん」シリーズ、話題のダイエット関連本など。

★長期の未返却が目立ちます。また、破損の場合は返却時に職員に一声おかけください。気持ちよく利用していただくために、ぜひお願いします。

町民憲章

- 1、ゆたかな緑ときれいな水をまもり美しい町をつくりましょう
- 1、互いに助け合い親切をつくし楽しい町をつくりましょう
- 1、産業をおこしみんなで働ける豊かな町をつくりましょう
- 1、教養を深め心と体をきたえ文化の町をつくりましょう
- 1、きまりを守り良い風習を育て住みよい町をつくりましょう

ツリフネソウ

ツリフネソウ (ツリフネソウ科)

(学名: *Impatiens textori*)

[ツリフネソウ属 ツリフネソウ科]

ツリフネソウ（釣船草）は、花の形が船をつり下げたような姿になぞらえてつけられたといえます。花の時期は只見では7月下旬から9月頃までで、林の縁や、沢沿いの湿った場所に見られます。花の色は赤紫色ですが、黄色の花をつける“キツリフネ”もあります。ツリフネソウは花が葉の上に出て咲き、キツリフネは葉の下に花が咲きます。

ハウセンカの仲間で種が熟すと、さやがはじけて中から種がとびだします。



キツリフネ

企画展示

○只見の川と水辺の生き物たち

只見の川にすむ魚類と両生類を中心にパネルなどで展示紹介します。

期 間: 7月28日(土)～9月23日(日)

場 所: ただみ・ブナと川のミュージアム

町外企画展示

○「自然首都・只見」展

期 間: 8月17日(金)～8月22日(水)

場 所: コラッセふくしま 1階 福島県観光物産館

パネル展示: 自然首都・只見の自然

【講演会】「只見の自然と暮らし」(コラッセふくしま4階会議室)

講師: 渡部和子さん(只見町ブナセンター主任指導員)

8月18日(土) 14:00～14:40(1回)

8月19日(日) 11:00～11:40 / 14:00～14:40(2回)

*物産販売を8月18日(土)と19日(日)に行います。

※この広報紙は再生紙を使用しています



※環境にやさしい大豆油インキを使用しています

皆様のご支援、ありがとうございます。

豪雨災害による支援

多くの皆様から、お見舞いなどのご支援をいただいております。
誠にありがとうございます。いただきました支援金については、
災害復旧対策などのため有効に使わせていただきます。

支 援 金 **6,744,605円** **(64件)**
8月6日現在